

アンケート調査票 設問設計(案)

分類	設問(案)	選択肢	選択肢が異なる		
			身体的 難病	精神	障害 児
①回答者について 【基本項目】	所持手帳	1. 身体障害者手帳 2. 療育手帳 3. 精神障害者保健福祉手帳 4. 手帳は持っていない	問1	問1	問1
	補問：手帳の等級・判定	《身体障害者手帳》 1級・2級・3級・4級・5級・6級 《療育手帳》 A・B1・B2 《精神障害者保健福祉手帳》 1級・2級・3級	問1 補問①	問1 補問①	問1 補問①
	補問：障害の種類・原因	《身体障害者手帳》 1. 視覚障害 2. 聴覚・平衡機能障害 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 4. 肢体不自由 5. 内部障害(心臓、腎臓、呼吸器など) 《精神障害者保健福祉手帳》 1. 統合失調症、妄想性障害、統合失調感情障害 2. 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む) 3. 不安障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、解離性障害 4. てんかん 5. その他()	問1 補問②	問1 補問②	問1 補問②
	難病・発達障害・高次脳機能障害の 対象の有無	1. 発達障害 2. 高次脳機能障害 3. 難病 4. いずれもない	問2	問2	問2
	(難病の方/発達障害の方) 補問：難病の疾患名、発達障害の 種類	《発達障害》 1. 自閉症スペクトラム (自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害) 2. 学習障害(LD) 3. 注意欠陥多動性障害(AD/HD) 4. その他() 《難病》 疾患名を記載してもらおう	問2 補問	問2 補問	問2 補問
	年齢	(年齢を自記入)	問3	問3	問3
	同居人数・同居家族	1. 配偶者(妻または夫) 2. 父親 3. 母親 4. 子ども(※障害児なし) 5. 子の配偶者(男性)(※障害児なし) 6. 子の配偶者(女性)(※障害児なし) 7. 兄弟・姉妹 8. 祖父 9. 祖母 10. 孫(※障害児なし) 11. 親戚 12. その他() 13. いない(ひとりで暮らしている)	問4	問4	問4
	要介護認定の対象の有無と要介護認 定の区分(※40歳以上の方のみ)	1. 受けていない 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4 8. 要介護5 9. 非該当	問5	問5	問5

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害児
②③保健・医療 について 【基本施策1】	医療機関の受診の有無	1. 通院（または往診）している 2. 入院している 3. 医療機関にかかっていない	問6	問6	問6
	医療機関の受診に関する問題点	1. 通院の交通手段が確保・利用しにくい 2. 通院の付き添いがいない 3. 医師とのコミュニケーションができない 4. 専門的な医療機関が近くにない 5. ちょっとした病気やケガを受け入れる医療機関が近くにない 6. いくつでも医療機関に通わなければならない 7. 気軽に往診を頼める医師がいない 8. 歯の治療がむずかしい 9. 医療費の負担が大きい 10. 医療機関の建物の構造が障害のある方に配慮されていない 11. その他 12. 特に困っていない	問7	問7	問7
	現在受けている支援の有無（医療的な支援含む）（※精神障害者のみ）	1. 訪問看護 2. デイケア 3. 往診 4. 精神保健相談 5. 精神障害者グループ活動 6. 精神障害者家族教室 7. 認知症家族教室 8. 思春期・若者こころの相談 9. 依存症相談事業（アルコール・薬物・ギャンブルなど） 10. その他（ ）		問8	
③④福祉サービス、相談支援について 【基本施策2】	障害福祉サービスの利用の有無 利用しているサービス	1. ホームヘルプ（自宅で行う日常生活上の支援） 2. 移動支援（外出のときの支援） 3. 短期入所（数日間泊まれる施設など） 4. 日中一時支援（日中を過ごす施設など） 5. 通所施設・事業所などで行う日常生活の介助（生活介護） 6. 通所施設・事業所などで行う社会生活やリハビリの訓練（自立訓練） 7. 通所施設・事業所などで行う就労や就労のための訓練（就労支援） 8. 一般就労を継続するための支援（就労定着支援） 9. 退所後に地域生活での相談・助言等の支援（自立生活援助） 10. 退所・退院に関する支援や地域で住み続けるための支援（地域移行・地域定着支援） 11. 創作・生産活動や社会との交流など日中活動の場の提供（地域活動支援センター・小規模作業所） 12. グループホームでの共同生活 13. 施設への入所 14. サービスを利用するための相談 15. その他 16. 利用していない 上記の1～16は障害者と同様の選択肢。下記が障害児のみの選択肢。 17. 児童発達支援（就学前の通園（療育）施設での個別や集団での指導・訓練を通じた発達に即した適切な支援） 18. 保育所等訪問支援（保育所（園）や小学校等を訪問し、集団生活を営むための必要な支援） 19. 居宅訪問型児童発達支援（自宅での指導・訓練を通じた発達に即した適切な支援） 20. 放課後等デイサービス（就学後の通園（療育）施設での放課後等の生活能力向上のための必要な支援） 21. 保育所（園） 22. 児童ホーム（学童保育） 23. こどもクラブ 24. 子育てサークル	問8	問9	問8
	サービスを利用できない状況の有無	1. ある 2. ない 3. わからない	問9	問10	問9
	（利用できない状況がある方） 補問：サービスを利用できなかった理由	（理由を自記入）	問9 補問	問10 補問	問9 補問
	サービスを利用しやすくするために 求める支援	1. どんなサービスがあるのか、もっと情報がほしい 2. 利用についての申請や手続き方法をわかりやすくしてほしい 3. 自分にとって何が必要なサービスかが判断できるような手助けがほしい 4. 利用の条件を緩やかにしてほしい 5. 手続きにかかる時間を短縮してほしい 6. サービスの回数や時間を増やしてほしい 7. サービスは身近な場所で受けられるようにしてほしい 8. 支援者の資質向上を図ってほしい 9. 費用負担を軽くしてほしい 10. その他（ ）	問10	問11	問10
	福祉サービスの利用や日常生活の支援などの相談相手（選択肢は家族以外）	1. 保育所（園）・幼稚園・学校 2. 職場 3. 病院・診療所（医療相談） 4. サービスを受けているところ（施設・作業所・事業所） 5. ケアマネジャー（※障害児なし） 6. ヘルパー 7. 市役所の職員 8. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 9. 地域包括支援センター（※障害児なし） 10. こども家庭センター（※障害児のみ） 11. 民生委員・児童委員 12. 障害者相談員 13. 障害者団体や家族会、患者会 14. 発達障害者支援センター 15. 難病相談センター 16. その他（ ） 17. 相談する人はいない 18. 相談するところが分からない 19. 相談しない	問11	問12	問11

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害児
④⑤療育・教育 について 【基本施策3】 (※障害児の み)	通学	1. 保育所(園) 2. 幼稚園 3. 保育所(園)・幼稚園以外の通園(療育)施設 4. 特別支援(養護)学校(幼稚園) 5. 小学校 6. 特別支援(養護)学校(小学部) 7. 中学校 8. 特別支援(養護)学校(中学部) 9. 高等学校 10. 定時制高校 11. 特別支援(養護)学校(高等部) 12. 高等特別支援学校 13. 大学(短期大学を含む) 14. 専門学校 15. その他 16. 通学していない			問12
	療育の説明の有無	1. 説明を十分受けている 2. 一部、説明を受けている 3. よくわからない			問13
	関係機関との連携の状況	1. 十分な連携ができている 2. ある程度の連携ができている 3. ほとんど連携できていない 4. まったく連携できていない			問14
	必要な保育・教育	1. 今の保育所(園)や幼稚園、学校に満足している 2. 障害のない児童・生徒とのふれあいをしてほしい(ふやしてほしい) 3. もっと周囲の児童・生徒、またはその保護者に理解してほしい 4. 通所(園)や通学を便利にしてほしい 5. 進路指導をしっかりとしてほしい(自立して働けるような力をつけさせてほしい) 6. 障害のある人が利用できる設備をふやしてほしい 7. 障害特性に応じた配慮をしてほしい 8. 障害のことがわかる保育や授業をしてほしい(ふやしてほしい) 9. 休日などに活動できる仲間や施設がほしい 10. 放課後や長期休暇中に利用できる福祉サービスをふやしてほしい 11. 特にな 12. その他()			問15

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害児
⑤⑥雇用・就労 について 【基本施策4】	就労の有無 (※障害者のみ)	1. 正規の社員・従業員として働いている(自営業を含む) 2. パート・アルバイトとして働いている(家業手伝いを含む) 3. 作業所等(就労継続支援A型・就労継続支援B型・地域活動支援センター・その他作業所など)に通っている 4. 仕事はしていない	問12	問13	
	(働いている/通っている方) 補問: 就労期間(定着の状況) (※障害者のみ)	1. 半年未満 2. 半年~1年未満 3. 1年~2年未満 4. 2年~3年未満 5. 3年~5年未満 6. 5年以上	問12 補問①	問13 補問①	
	(働いている/通っている方) 補問: 就労などによる平均月収 (※障害者のみ)	就労などによる平均月収 _____ (自記入) 円	問12 補問②	問13 補問②	
	仕事をするうえでの問題点 (※障害者のみ)	1. 収入が少ない 2. 仕事が難しい 3. 自分にあった内容の仕事がない 4. 職場での身分が不安定(永年勤務できるか不安) 5. 職場の人間関係が難しい 6. 職場に定着するために相談する人がいない 7. トイレなど、障害者用の設備が十分ではない 8. 昇給や昇進が平等ではない 9. 通勤が大変 10. その他()	問13	問14	
	働きやすくなるために必要な条件や 環境整備 (※障害者のみ)	1. 勤務時間や日数を短縮する 2. 通勤の手段が確保される 3. 自宅で仕事ができるようにする 4. フレックスタイムなどで自由な働き方ができるようにする 5. 勤務時間内でも通院できる 6. ジョブコーチから支援が受けられる 7. 職業訓練を充実し、就労のための技術を身につける 8. 仕事の相談やあっせんをする場を充実する 9. 職場の施設や設備が障害のある方にも利用できるように配慮されている 10. あらゆる業種で障害のある方の雇用枠を増やす 11. 事業主や職場の方たちが、障害のある方を理解してくれる 12. 就労定着支援事業所などへの支援を充実する 13. 職場での介助者が保障されている 14. 課題解決のための連絡調整やアドバイスなど、職場に定着するための相談体制を充実する 15. その他()	問14	問15	
将来への不安(※障害児のみ)	1. 特に不安はない 2. 通勤が便利かどうか 3. 仕事が障害の状況に合うかどうか 4. 技術がいかせるかどうか 5. 職場がバリアフリー化されているかどうか 6. 収入が少なくないかどうか 7. 労働時間が長すぎないかどうか 8. 労働時間が短すぎないかどうか 9. ずっと働けるかどうか 10. 人間関係がうまくいくかどうか 11. 周囲の人の理解が得られるかどうか 12. 働くためのルールが身についているか 13. その他()			問16	

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害 児
⑥⑦生活環境、 移動・交通につ いて 【基本施策5】	居住形態	1. 持ち家 2. 賃貸住宅（介護サービス付賃貸住宅等を含む） 3. 公営住宅 4. 障害者支援施設（入所）（※障害児なし） 5. 障害児入所施設（※障害児のみ） 6. グループホーム（障害者） 7. グループホーム（高齢者）（※障害児なし） 8. 特別養護老人ホーム（入所）（※障害児なし） 9. 会社の寮 10. 病院 11. その他（ ）	問15	問16	問17
	希望する居住形態・世帯構成	1. ひとりで暮らしたい 2. 家族といっしょに自宅で暮らしたい 3. グループホーム（障害者）を利用したい 4. 障害児入所施設を利用したい（※障害児のみ） 5. 障害者支援施設（入所）を利用したい（※障害児なし） 6. 特別養護老人ホーム（入所）を利用したい（※障害児なし） 7. グループホーム（高齢者）を利用したい（※障害児なし） 8. その他	問16	問17	問18
	在宅生活を送るための必要な支援	1. 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること 2. 障害に対応した住居の確保 3. ホームヘルプなど、必要なサービスが適切に利用できること 4. 生活訓練等の充実 5. 経済的な負担の軽減 6. 相談支援等の充実 7. 地域住民等の理解 8. 定期的な巡回訪問や見守り 9. 生活を送る上での身のまわりの相談 10. 入院・入所施設における地域移行に向けた支援の充実 11. その他（ ） 12. 支援は必要ない	問17	問18	問19
	外出回数	1. ほとんど毎日外出する 2. 週4～5日くらい外出する 3. 週2～3日くらい外出する 4. 週1日くらい外出する 5. こくたまに（月2～3回くらい）外出する 6. ほとんど外出しない	問18	問19	問20
	単独外出	1. 一人で外出できる 2. 介助者等がいれば外出できる 3. 介助者等がいても外出できない	問19	問20	問21
	(介助者が必要な方) 補問：外出時の同伴者・支援者	1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. 親戚・友人 4. 近所の人 5. ガイドヘルパーや施設の人 6. 手話通訳などの意思疎通支援者 7. その他（ ）	問19 補問	問20 補問	問21 補問
	外出時の問題点	1. バスや鉄道などが利用しにくい（乗り降りが難しいなど） 2. 障害者用の駐車場がない、または少ない 3. 歩道に問題が多い（せまい、障害物が多い、誘導ブロックがないなど） 4. 建物の設備が利用しにくい（階段、トイレ、案内表示など） 5. 休憩できる場所が少ない（身近な公園や歩道のベンチなど） 6. 介助者がいないと外出できない 7. 介助者を頼むと利用料を負担しなければならない 8. その他（ ） 9. 特にな 10. 外出しない／外出したいと思わない	問20	問21	問22

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害 児
⑦⑧スポーツ・ 文化、社会参加 活動について 【基本施策6】	生涯学習の実施の有無	1. したことがある 2. していない	問21	問22	問23
	(している方) 補問：生涯学習の実施の内容	1. 趣味的なもの(音楽、美術、生け花、舞踊、書道など) 2. 教養的なもの(文学、歴史、語学、科学など) 3. 社会問題(社会・時事問題、国際問題、環境問題など)の学習 4. 健康づくり・スポーツ(健康法、医学、美容、栄養、水泳、ダンス、体操など) 5. 家庭生活に役立つ学習(料理、裁縫、編み物など) 6. 育児・教育(家庭教育、幼児教育・教育問題など)に関する学習 7. 職業上必要な知識・技能(仕事に関連した資格取得など) 8. パソコン・インターネット、情報通信分野(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)の知識・技能 9. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能(手話、点訳、介護など) 10. 自然体験や生活体験などの体験活動(キャンプ・登山・ハイキングなど) 11. その他()	問21 補問①	問22 補問①	問23 補問①
	(している方) 補問：生涯学習の実施場所	1. 市主催の講座や教室(みんなのあまがさき大学など) 2. 公民館や生涯学習プラザなどにおける講座や教室 3. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育 4. 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室 5. 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程 6. 職場の教育、研修 7. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動 8. 図書館、博物館、美術館 9. テレビやラジオ 10. 情報端末やインターネット 11. 自宅での学習活動(書籍など) 12. その他()	問21 補問②	問22 補問②	問23 補問②
	生涯学習に必要な支援など	1. 活動に関する情報提供 2. 活動への参加につながるようなきっかけ作り 3. 自分の障害に対応した講座や学習資料の提供 4. 活動するときのバリアフリーの場の提供 5. 一緒に学習や活動する仲間作り 6. 活動の成果が社会的に評価されること 7. 必要経費の支援 8. 介助者等の人的体制を整えること 9. その他	問22	問23	問24
⑧⑨安全・安心 について 【基本施策7】	近年の災害時に困ったことの有無	1. あった 2. なかった	問23	問24	問25
	(あった方) 補問：困ったことの内容	(具体的に困ったことについて自記入)	問23 補問	問24 補問	問25 補問
	避難場所の認知度	1. 知っている(決めている) 2. 知らない(決めていない)	問24	問25	問26
	災害に対する備えの状況	1. 震災時の非常持出品、備蓄品の中に、障害特性に応じた医薬品、食料などを用意している 2. 避難所などにおいて医療が受けられるよう、衣料品や病状などの情報を記録している 3. 震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人などの連絡先を把握している 4. 震災時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人などに対して、お願いしている 5. 災害時に避難する避難場所までの移動ルート・方法などを確認している 6. 災害時に避難する避難場所の設備などを確認している 7. 地域の避難訓練に参加している 8. その他() 9. 特に何もしていない	問25	問26	問27
	消費者トラブル経験の有無	1. ある 2. ない 3. わからない	問26	問27	問28
	(ある方) 補問：消費者トラブルの内容	(具体的な内容と相談先、その結果について自記入)	問26 補問	問27 補問	問28 補問

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害 児
⑨⑩情報、啓 発・差別の解消 について 【基本施策 8】	使用している情報通信手段	1. 電話 2. 携帯電話・スマートフォン 3. F A X 4. 携帯電話・スマートフォンのメール 5. パソコン（インターネット・メール等） 6. 郵便（手紙・はがき） 7. その他（ ）	問27	問28	問29
	情報入手方法	1. 新聞・雑誌 2. テレビ・ラジオ 3. 所属している団体の会合や会報 4. 市・県が発行する広報紙・パンフレット 5. 市・県の保健福祉の窓口 6. インターネット 7. 学校・職場・障害福祉施設 8. 病院・診療所・薬局等 9. 福祉活動をしている民間団体 10. 家族・友人・知人 11. ホームヘルパーや訪問看護師 12. ボランティア 13. 民生委員・児童委員 14. その他（ ） 15. 情報は入手できていない	問28	問29	問30
	情報取得に対する満足度（評価）	1. 十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. まったく不十分 5. わからない	問29	問30	問31
	（やや・まったく不十分の方） 補問：不十分な理由	（理由を自記入）	問29 補問	問30 補問	問31 補問
	コミュニケーション手段	1. 手話 2. 筆談 3. 要約筆記 4. 点字 5. 音訳 6. 拡大鏡 7. 絵図 8. 写真 9. サイン 10. ジェスチャー 11. 代用音声 12. ヘルパーによる支援 13. P C ・スマホ等 14. その他（ ）	問30	問31	問32
	コミュニケーションに支障を感じる かの有無	1. ある 2. 時々ある 3. ない	問31	問32	問33
	（ある方） 補問：支障を感じた内容と必要な 支援	（支障を感じた具体的な内容と、その際に必要だった支援について自記入）	問31 補問	問32 補問	問33 補問
	尼崎市手話言語条例の認知度	1. よく知っている 2. 多少は知っている 3. 聞いたことはある 4. まったく知らない	問32	問33	問34
	差別・偏見を感じるかの有無	1. よく感じる 2. ときどき感じる 3. ほとんど感じない 4. まったく感じない	問33	問34	問35
	（まったく感じない方以外） 補問：差別を感じるとき	1. 教育の場 2. 冠婚葬祭 3. スポーツ・趣味の活動 4. 地域の行事・集まり 5. 交通機関の利用 6. バリアフリーの配慮 7. 仕事や収入 8. 人間関係 9. 街のなかでの視線 10. 店などでの対応・態度 11. 行政機関での対応 12. 施設や事業所での対応 13. その他（ ）	問33 補問	問34 補問	問35 補問
	障害者差別解消法の認知度	1. よく知っている 2. 多少は知っている 3. 聞いたことはある 4. まったく知らない	問34	問35	問36
	障害・難病への行政職員の理解の浸透度	1. 進んできている 2. 多少進んできている 3. どちらともいえない 4. 多少後退してきている 5. 後退してきている 6. わからない	問35	問36	問37
	障害・難病への市民の理解の浸透度	1. 進んできている 2. 多少進んできている 3. どちらともいえない 4. 多少後退してきている 5. 後退してきている 6. わからない	問36	問37	問38

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害児
⑩⑪権利擁護、 行政サービス等 における配慮に ついて 【基本施策9】	虐待を受けた時や発見した時の通報 先の認知度 (尼崎市障害者虐待通報・緊急連絡窓口)	1. 知っている 2. 知らない	問37	問38	問39
	成年後見制度の認知度	1. よく知っている 2. 多少は知っている 3. 聞いたことはある 4. まったく知らない	問38	問39	問40
⑩⑫介助者につ いて	主な介助者	1. 配偶者(妻または夫) 2. 父親・母親 3. 子ども(※障害児なし) 4. 子の配偶者(※障害児なし) 5. 兄弟・姉妹 6. 祖父母 7. 孫(※障害児なし) 8. 親戚 9. 友人・知人・近所の人 10. ヘルパーや施設職員 11. ボランティア 12. その他() 13. いない	問39	問40	問41
	介助者の年齢	(年齢を自記入)	問40	問41	問42
	将来に対する不安 (※障害者のみ)	1. 日常の介助者がいるか 2. 将来いっしょに暮らす家族がいるか 3. 地域の中で暮らしていけるか 4. 結婚できるか 5. 必要な医療や機能訓練が受けられるか 6. 働く場があるか 7. 十分な収入があるか 8. 災害や病気・事故などで命に危険がある時、すぐに助けにきてもらえるか 9. 住宅が確保できるか 10. 本人が高齢になったときのこと 11. 介護者が高齢になったときのこと 12. 希望する施設に通所できるか 13. 希望する施設に入所できるか 14. 病状の悪化や再発のこと 15. 財産や金銭の管理のこと 16. その他()	問41	問42	問43
	将来に対する不安 (※障害児のみ)	1. 日常の介助者がいるか 2. 将来いっしょに暮らす家族がいるか 3. 地域の中で暮らしていけるか 4. 必要な医療や機能訓練が受けられるか 5. 希望する学校に行けるか 6. 働く場があるか 7. 災害や病気・事故などで命に危険がある時、すぐに助けにきてもらえるか 8. 親しい友人・知人がいるか 9. 介護者が高齢になったときのこと 10. 希望する施設に通所できるか 11. 希望する施設に入所できるか 12. その他()			問43
	介助者の悩みなどの相談相手	1. 家族・ご親戚 2. 友人・知人 3. 近所の人 4. 保育所(園)・幼稚園・学校 5. 職場 6. 病院・診療所(医療相談) 7. サービスを受けているところ(施設・作業所・事業所) 8. ケアマネジャー(※本人障害児なし) 9. ヘルパー 10. 市役所の職員 11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 12. 地域包括支援センター(※本人障害児なし) 13. こども家庭センター(※本人障害児のみ) 14. 民生委員・児童委員 15. 障害者相談員 16. 障害者団体や家族会、患者会 17. 発達障害者支援センター 18. 難病相談センター 19. その他() 20. 相談する人はいない 21. 相談するところが分からない 22. 相談しない	問42	問43	問44
	介助者が希望する(本人の)将来の 住まい	1. 一戸建て 2. 集合住宅 3. グループホーム 4. 障害のある方の入所型の福祉施設 5. 高齢の方の入所型の福祉施設 6. その他	問43	問44	問45
	補問: 希望する住まいで暮らすた めに必要なこと	1. ホームヘルプサービスが身近にあること 2. 日常生活を支えてくれる方の存在 3. 就労に対する支援 4. 金銭的な援助 5. 成年後見人がいること 6. 利用できるグループホームが身近にあること 7. 障害のある方や高齢の方のための入所型の福祉施設が身近にあること 8. その他()	問43 補問	問44 補問	問45 補問

分類	設問(案)	選択肢	身体的 難病	精神	障害児
⑬その他全般について	本市で暮らしていく上で、特に必要と考える支援など	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一人ひとりの障害にあった療育 2. 障害のある方への理解を深める広報活動の充実 3. さまざまな学びの場面での福祉教育の充実 4. 日常的な介護などの在宅福祉サービスの充実 5. 障害のある方の雇用の企業への働きかけ 6. 障害のある方の就労施設の充実 7. 訪問看護や機能訓練などの保健・医療サービスの充実 8. 道路、公共的な建物などを障害のある方が利用しやすいものへ整備 9. 福祉タクシーやリフト付きバスなど移動手段の充実 10. 障害のある方のための福祉施設（生活介護・短期入所など）の充実 11. わかりやすく、利用しやすい相談窓口の整備 12. いつでも何でも話し合える相談相手や仲間を見つける場 13. 障害のある方の各種手当の充実、医療費の軽減など 14. 障害のある方がスポーツ・レクリエーション、文化活動に参加しやすい環境整備 15. 障害のある方に対するボランティア活動の育成・支援 16. その他（ ） 17. 特になし 	問44	問45	問46
	自由回答	自由回答	問45	問46	問47